

令和元年10月21日

第76号

公益財団法人
川崎市シルバー人材センター
川崎市川崎区堤根34-15
ふれあいプラザかわさき1F
TEL 044-222-6886
FAX 044-221-8516

シルバーかわさき

<http://www.kawasaki-sc.or.jp/>

シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間

シルバー人材センターでは毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め、「全国シルバー人材センター事業協会」を中心として全国で「普及啓発促進キャンペーン」を展開しています。当センターでも地域への貢献とセンター事業を広くPRするため、様々な活動を実施してまいります。

○主なPR活動

- ・統一美化活動（9月）
- ・JR川崎駅周辺地域でのPR活動
- ・各種講習会の協賛及びPR活動
- ・関係施設等へのパンフレット配架
- ・老人いこいの家等へのポスター掲示
- ・ハローワーク川崎臨時ブースの設置
- ・地域班、職群班によるリーフレット配布活動

○区民祭への参加

- ・幸区民祭（南部事務所）
 - ・宮前区民祭（中部事務所）
 - ・あさお区民まつり（北部事務所）
- ※あさお区民まつりは
台風のため中止に
なりました。



南部事務所（JR川崎駅周辺）

今年も9月に各区内で実施された「市内統一美化活動」に多くの会員有志の方達が清掃ボランティアとして参加されました。
このイベントは地域社会への貢献、シルバー事業の普及啓発を目的として毎年参加しております。詳細につきましては、「事務所だより」をご覧ください。

市内統一美化 活動への参加



北部事務所（小田急新百合ヶ丘駅周辺）



中部事務所（JR武蔵溝ノ口駅周辺）

安全就業だより

◎「安全就業標語」最優秀表彰式

前号で紹介しました「安全就業標語」最優秀に選ばれた、林 啓雄 会員（中部事務所）をお迎えして表彰状の授与並びに記念品の贈呈を行いました。

また、安全就業の呼びかけとして「安全就業標語ポスター」の掲示をするなどの活動を行いました。



【受賞された 林 啓雄 会員(左)】

◎「ヒヤリハットと体験事例」最優秀表彰式

前号で紹介しました「ヒヤリハットと体験事例」最優秀に選ばれた、白倉 俊夫 会員（北部事務所）をお迎えして表彰状の授与並びに記念品の贈呈を

行いました。



【受賞された 白倉 俊夫 会員(左)】

◎健康管理と安全就業の徹底を！

令和元年度4月から8月までの事故発生状況は、傷害事故4件、賠償事故1件の計5件となっております。事故内容として、前年同月と比較すると傷害事故は昨年より2件、賠償事故は、1件少なく推移している状況です。今回、傷害・賠償ともに減少傾向にあるため、引き続き気を付けて作業していただきたいと思います。

これから、年末にかけて気忙しい時期となりますが、心と時間に余裕を持って、仕事にあたるようにしましょう。

会員皆さんにおいては、事故を起こさないよう細心の注意と一層の心構えをよろしくお願いいたします。

なお令和元年度4月から8月までの事故発生状況の詳細は、次のとおりです。

◇令和元年度 4月～8月分 事故発生状況

No.	種類	区分	発生日	仕事の内容	性別	年齢	事務所	事故の状況
1	傷害①	就業中	5月27日	屋内清掃作業	女	71	北部	清掃作業中、足を滑らせ転倒し、頭部を強打。頭部を強打したことから、念のため、病院で診察を受けた。
2	傷害②	就業中	7月5日	除草作業	男	74	南部	用水路（幅2m弱のコンクリート構造）の川岸で除草作業中、安全带ストラップをフェンスの下方に付け替えようとしたところ、誤って足を滑らせ用水路上部の梁に左胸部を強打、用水路へ転落し動作困難となり、救急搬送された。
3	傷害③	途上	5月29日	調理	女	75	南部	就業の帰宅途中、交差点を渡ろうとした際に転倒し、右手、右胸、右膝を打ってしまった。問題ないと思い、病院に行かず、就業を続けていたが、熱と痛みが治まらないので、病院で診察を受けたところ、右手薬指と右側肋骨2本の骨折と判明した。
4	傷害④	途上	6月23日	軽作業	女	83	北部	就業先から自宅へ自転車で帰宅中、交差点で歩行者と衝突し、転倒。その際、頭部と胸部を強打。病院で診察を受けたところ、5日間の安静と診断された。
5	賠償①	就業中	7月24日	障子の張替え	男	71	中部	会員が障子の張替え作業を行うため、古い障子を剥がし棧や枠を水で洗い流した後、綺麗に拭き取らなかったため細かい埃や糊がこびりついた状態となってしまった。

※南部 2件 中部 1件 北部 2件 計 5件

会員のひろば

趣味で「ピンコロ」

南部事務所 草雄 武志 会員

59歳の時、健康診断で胃カメラを吞まされ、癌になる要因の異常（萎縮性胃炎など）が見つかり、毎年胃カメラをと通告されました。次の年から胃カメラどころか健診に一度も行っていません。もう17年も過ぎています。

私が決断したのは「免疫力で癌を予防しよう」でした。癌は私が高校二年生の時に父親が胃癌で逝きましたので関心があり、健診に頼らないで日々出来る、自分で決めた4つの項目を実行しています。

その一つが「身体を冷やさないで温めること、お風呂と歩くこと」です。野沢温泉で知った共同浴場の素晴らしさに「よし全国の共同浴場に行こう！」と決めました。古湯・名湯と言われている温泉地にはその土地の人たちの入るお風呂が健在で、どこも源泉掛け流しの本物の温泉です。週に3日、毎週その共同浴場を訪ね、400を超える温泉地を巡りました。入浴しながらの地元の人たちとの会話で、ほのぼのとした人情にふれあい、身も心も温められました。

この行動力の基は「ナンバ歩き」という日本人の古来の歩き方を覚え実行したことです。左足が前に着地した時に左手も出す。右側もそうします。胸を圧迫しない歩き方なのです。「温泉に入る」とことと「ナンバ歩き」は私の大切な「趣味」となりました。温泉に入ることでは、川崎市内にある温泉銭湯の「黒湯」を私は共同浴場の温泉に値する温泉と評価して、今では毎週2回は通っています。

新年号の表紙を飾る作品を募集します

シルバーかわさき新年号の表紙に載せる写真や絵など、新年を迎えるにふさわしい作品を募集し、シルバーかわさき新年号の表紙に載せる写真や絵など、新年を迎えるにふさわしい作品を募集します。是非、ご応募ください。

また、投稿記事や自作の絵画・彫刻なども、随時募集しています。

●応募方法

- ①氏名 ②住所 ③電話番号を明記してご郵送ください。

●送り先

〒210-0026

川崎市川崎区堤根34-15

(公財)川崎市シルバー人材センター
経営課内 会報編集委員会事務局迄

※採用者には記念品を贈呈いたします。



平成30年1月表紙作品



平成31年1月表紙作品

事務費率の改定について

当センターは、平成18年から13年間、8%相当額を事務費としておりましたが、センターの取り巻く環境が大きく変化し、財政状況も厳しくなる中、センターでは内税となっている消費税率が改定されることになり、同税の転嫁の必要性からも財政基盤の健全な運営を図るため、事務費率の改定をせざるを得なくなりました。

つきましては、令和元年10月1日以後の申込み分から事務費率を10%に改定させていただきます（令和元年9月30日までの申込み受付けについては現行の8%とさせていただきますが、令和2年4月1日就業分からは、申込み時期にかかわらず全ての受注について、事務費率を10%とさせていただきます。）。ので、お客様に御理解をいただけるよう、会員皆様の御協力をお願いいたします。



配分金支払日

10月分から12月分の配分金支払日は次のとおりとなっております。

10月分	11月25日(月)
11月分	12月25日(水)
12月分	1月27日(月)

※配分金は月末締め翌月25日（金融機関が休日の場合は翌営業日）に指定された口座へ支払います。

事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

★家事援助・ 育児支援コーディネーター会議

令和元年9月13日(金)



コーディネーター会議の様子

コーデイ
ネーター5
名と担当職
員4名によ
り令和元年
度上半期の
会議を実施
いたしました
。

受注依頼
の中で、最
近依頼の多
くなってい
る「子供の
送迎」や「高
齢者の話し

相手」について、受注件数の多い「家事援助サービス」と異なり、サービス利用の子供や高齢者の性格や考え方が多種多様になってきています。それに合わせて就業する会員に対して、職員による

丁寧なフォローが必要であるとの意見が出され、その対応方法について、今後検討していくこととなりました。

★市内統一美化活動

令和元年9月29日(日)

参加者18名



南部事務所美化活動の様子

今にも雨
粒が落ちて
きそうな曇
天の中、J
R川崎駅東
口ルフロ
ン前を出発
して、砂子
から旧東海
道の通りに
沿って大師
道まで、約
1時間かけ
て清掃を行
いました。清
々しいほど

きれいになり、会員の活動が地域貢献に大いに生かされました。

◎中部事務所

☎8222-5031

◎安全適正就業対策会議

令和元年7月12日(金)



安全適正就業対策会議の様子

中部事務所会議室にて、令和元年度安全適正就業対策会議を実施しました。令和元年度の「安全標語」「ヒヤリハット」の選考や、平成30年度の「安全・適正就業事業」等につ

いて、資料に基づいて報告・説明等を行いました。続いて、今年の夏も猛暑が続くことが予想されることから、熱中症等各種事故に関する分析や予防対策についての意見交換を行いました。委員からは「特に夏場の作業は、休憩を少し多めに取る等している」といった意見がありました。

◎植木班・

除草班グループリーダー会議

令和元年9月19日(木)

センターの事務費改定に伴い、中部事務所会議室にて、植木班・除草班のグループリーダー会議を実施しました。会議では、平成18年から8%であった事務費が、センターを取り巻く状況の変化等の理由により、10月以降の作業受付分から10%



リーダー会議の様子

となることを資料に基づき説明しました。出席した会員からは、10月以降に受注した作業の見積の書き方等の質問がありました。

◎市内統一美化活動

令和元年9月29日(日)

参加者20名



中部事務所
美化活動の様子

昨年は台風のため中止となりましたが、本年度も地域活動への貢献と当センターPRを兼ねて参加しました。活動場所であるJR武蔵溝ノ口駅北口の「ペDESTリアンデッキ」には多くの会員や協力団体が集まり、一斉にデッキ周辺の清掃活動を行いました。路上には袋の切れ端や爪楊枝等の細かいごみも落ちており、それらを丁寧に取り集め綺麗にしました。ご参加いただいた会員の皆様、お疲れ様でした。

◆北部事務所

☎980-0131

◆事務所安全・適正就業対策会議
◆安全就業対策・巡回指導



対策会議の様子

令和元年
7月9日(火)

北部事務所会議室にて、第1回事務所安全・適正就業対策会議を実施しました。今回は①昨年度の事故発生状況②本年度の実施計画について協

議しました。

また、午後は麻生区にある6階建てのマンション清掃現場の巡回指導を実施しました。1名の会員が作業を行っていましたが、足元などの安全確認のほか、道具の整理整頓など、居住者の安全に対しても配慮をいただいています。屋外の作業であるため、体調管理に留意していただけるようお願いしました。

◆市内統一美化活動

令和元年9月27日(金)

参加者12名



北部事務所美化活動の様子

今年度も小田急新百合ヶ丘駅周辺のボランティア清掃に参加しました。南口デッキ・北口ロータリーが活動場所となりましたが、駅周辺は日頃より業者による

清掃で綺麗な状態であり、一見するとゴミがないように見えたのですが、側溝や植込みには多くのゴミが捨てられており、清掃終了後には駅周辺が一層綺麗になりました。参加された会員の皆様、お疲れ様でした。

会報編集委員による取材

産婦人科医院で生き生きと働く会員さん方

8月中旬、小田急線柿生駅近くの「芥川パースクリニク」で、お仕事されている4名の会員さんについて取材しました。

産婦人科病院ということもあり、院内は明るく、清掃もすみずみまで行き届いており、赤ちゃんのかわいい泣き声を聞くとおもわず笑顔になります。

クリニックでは、女性2名（内匠さん、渡辺さん）、男性2名（内山さん、長橋さん）の会員さんたちが、面会者の受付業務、簡単な清掃業務を担当されています。4名の会員さんは同じ業務を担当されていますが、就業日と時間（昼夜）が別シフトのため、残念ながら一緒に仕事されることはありません。

菅澤管理部長さんの話



芥川パースクリニクの外観

4名の会員さんはお住まいが当院から適切な距離で、就業日、就業時間の調整がうまくできており、大変助かっています。
6年前に開院された当初からお仕事されていますが全員一堂に会することはできないため、4名の会員さんから「ひとことメッセージ」をいただきました。

乳児や御家族の笑顔を見ただけで元気になります。規則正しい食生活など、健康を維持しながら、仕事を通じて地域社会とのつながりを大切にしています。親切な応接に努め、職員さんと協力して、来院者の受付の間違いや呼び間違いのないよう、細心の注意を払っています。

内匠会員



取材当日は長橋会員が当番でした

七夕、クリスマス、お正月などと院内イベントが多数あり、子供たちの活気ある声に元気をもらっています。

先生、職員の皆さんは親切で気さくに接していただき、シルバーとして楽しく、役に立てる仕事ができ喜びの限りです。

長橋会員

地域社会とつながりながら元気を維持できるので、この仕事に就けて大変うれしいと思っています。

面会者の受付業務をしていますが、出産に喜んで来院する御家族が多いです。親切な応接と静かな見守りに努めています。

内山会員

たとえ毎日の仕事ではなくても、社会に参加して地域とのつながりを維持することを大切にしています。

来院者にはやさしく親切に応接するとともに、プライバシーを尊重して、深入りすることないよう心掛けています。

渡辺会員

取材を終えて

会員相互でシフト調整をする、過去の経験を活かして受付業務のマニュアルを作るなど、他の会員さんのための工夫をされていました。一緒に就業していてもチームワークのとれた仕事ができるよう、地域特性を活かした働き方、シフト編成が組みやすい環境など、病院様の御配慮をいただきながら、シルバー人材センターならではの働き方改革がありました。

取材：会報編集委員 谷所一彦